

Ⅱ. 平成 30 年度看護学分野 FD プログラム

- 1.日時：2019年、2月19日（火）13:00～15:30
- 2.場所：保健学科棟3階 多目的室
- 3.テーマ：「看護教育に活かすデザイン思考」

講師：芸術工学研究院 平井康之教授

目的：問題解決思考に偏りがちな看護教育に新たな視点や発想をとり入れ、自身の教育力を高める。

内容：デザイン思考について学び、そのプロセスをワークショップで体験をする。

タイムスケジュール：（司会；濱田）

* 開会のご挨拶；鳩野分野長	:13:00-13:05
1. はじめに：FD 概要説明、講師紹介、アイスブレイク	:13:05-13:30
2. レクチャー「看護教育に活かすデザイン思考」	:13:30-14:00
3. ワークショップ	:14:00-15:20
1) サブテーマ*紹介	:14:00-14:15
「教育の場、看護の場を考える ～①学習環境(108) ②ICU、③閉鎖病棟の隔離室～」	
2) チーム課題共有→拡散	:14:15-14:40
3) 課題収束	:14:40-14:50
4) アイデア展開	:14:50-15:10
5) プレゼン	:15:10-15:20
4. 質疑	:15:20-15:30

* 閉会のご挨拶：藤田副分野長、写真撮影

※サブテーマに至った経緯：

デザイン思考のプロセスの「課題の共有」→「アイデア展開」→「提案」の中で、今回は「アイデア展開」、可視化までを体験することを目標にし、具体的な課題を検討するために、事前に講座員に意見聴取を行い、「教育と臨床の連携」や「効果的な学習教材の作成」がテーマ案としてあげられました。講師の先生と世話人で検討し、効果的な学習教材について考えました。実践から学ぶ看護にとって広い意味で「教育環境・臨床環境」は、教材作成の基盤になるものとも考えます。また、臨床環境は患者の療養の場であり、教員・指導者にとっては教育環境の場、学生にとっては学びの場となります。そこで、今回は例として、①学習環境、②ICU、③隔離室等の写真や情報をお示しして、話し合うことにしました。